

週間漁海況情報—第10号

平成25年3月11日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

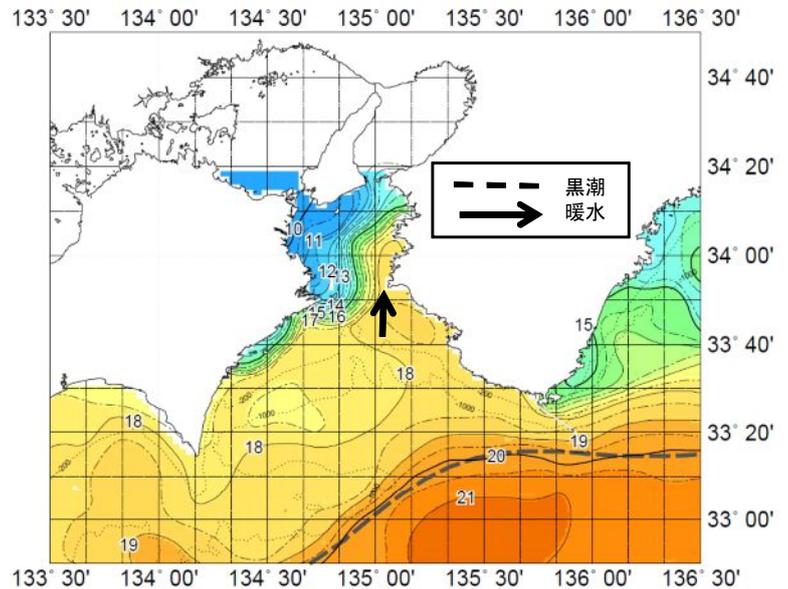
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.3.11）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で8～9℃台、紀伊水道で9～18℃台、海部沿岸で13～18℃台である。紀伊水道外域では、和歌山県沿岸から17～18℃台の暖水流入があり、暖水の一部は水道内に波及している。内海系水と黒潮系暖水との潮境は、蒲生田岬付近から和歌山県有田市沖付近にかけて確認できる。



紀伊水道海区観測結果

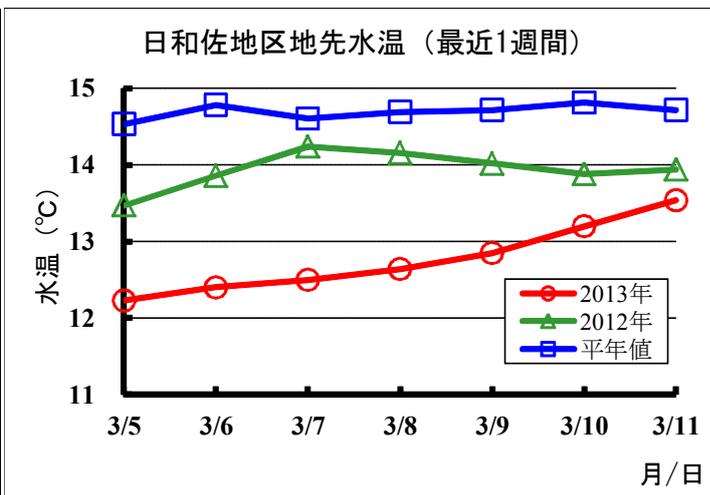
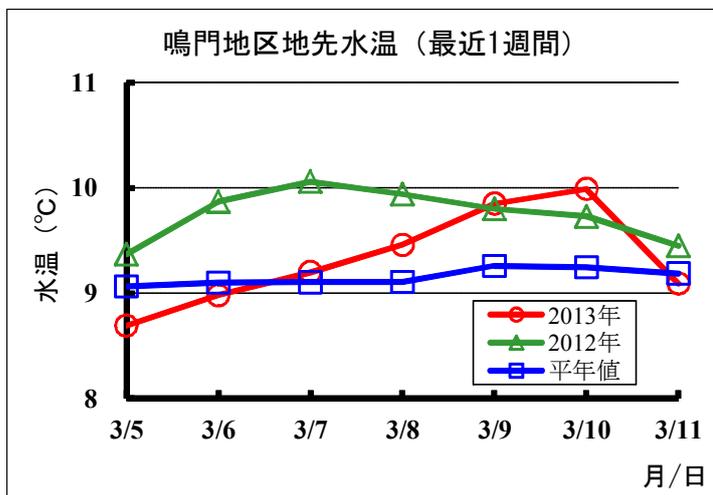
観測日		水 温					塩 分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
3/5, 6, 7	今年値	11.9	11.9	12.6	13.2	14.1	32.9	33.2	33.5	33.7	34.1
	平年偏差	0.4	0.3	0.4	0.7	0.8	-0.3	-0.2	-0.1	0.0	0.1
	前年偏差	-0.2	-0.3	-0.4	-0.7	-0.5	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1

漁業調査船「とくしま」で3月5、6及び7日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、表層～20m層水温が「平年並み」の11.9～12.6℃、30m層～50m層水温が「やや高め」の13.2～14.1℃であった。

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の8.7～10.0℃、日和佐地区は「低め」～「やや低め」の12.2～13.5℃、牟岐地区は「かなり低め」～「平年並み」の11.8～14.9℃で推移した。

*水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、中主体にアカムツが0.2トン（1日1隻あたり11kg）、中主体にアマダイが0.3トン（同10kg）、大主体にキダイが0.4トン（同13kg）、大主体にサバフグが0.5トン（同30kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、メジナが0.3トン（同6kg）、小主体にカサゴが0.2トン（同4kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、カタクチイワシが3.6トン（同83kg）、キビナゴが1.4トン（同27kg）、小主体にマルアジが0.3トン（同18kg）、アオリイカが0.5トン（同5kg）、スルメイカが0.2トン（同13kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、ブリが0.5トン（同78kg）、中主体にスルメイカが0.6トン（同99kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、特大主体にマサバが0.2トン（同18kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 3月4日～3月10日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	22	248	11	中主体
		アマダイ	30	299	10	中主体
		キダイ	33	439	13	大主体
		サバフグ	15	451	30	大主体
建網	海部沿岸	メジナ	45	290	6	
		カサゴ	47	201	4	小主体
小型定置網	海部沿岸	カタクチイワシ	43	3,574	83	
		キビナゴ	52	1,404	27	
		マルアジ	19	348	18	小主体
		アオリイカ	97	459	5	
大型定置網	海部沿岸	スルメイカ	18	234	13	
		ブリ	6	466	78	
釣り	海部沿岸	スルメイカ	6	592	99	中主体
		マサバ	12	219	18	特大主体

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」～「やや高め」の9～10℃台、日和佐地先で「低め」～「やや低め」の13℃台で推移する見込み。